

1. ごみ排出量（収集量）の推計方法

(1) ごみ排出量の将来推計の考え方

ごみ排出量の将来推計は一般的には、現状施策（ごみの排出抑制、再生利用）で、ごみの排出量が将来的にどのように変化するか（以下「現状のまま推移した場合」という。）を予測する。次いで、これに家庭、事業所等におけるごみの排出抑制、再生利用の促進のために実施する新たな施策を踏まえた目標値を設定し、目標達成後のごみ排出量の予測を行う（図1）。

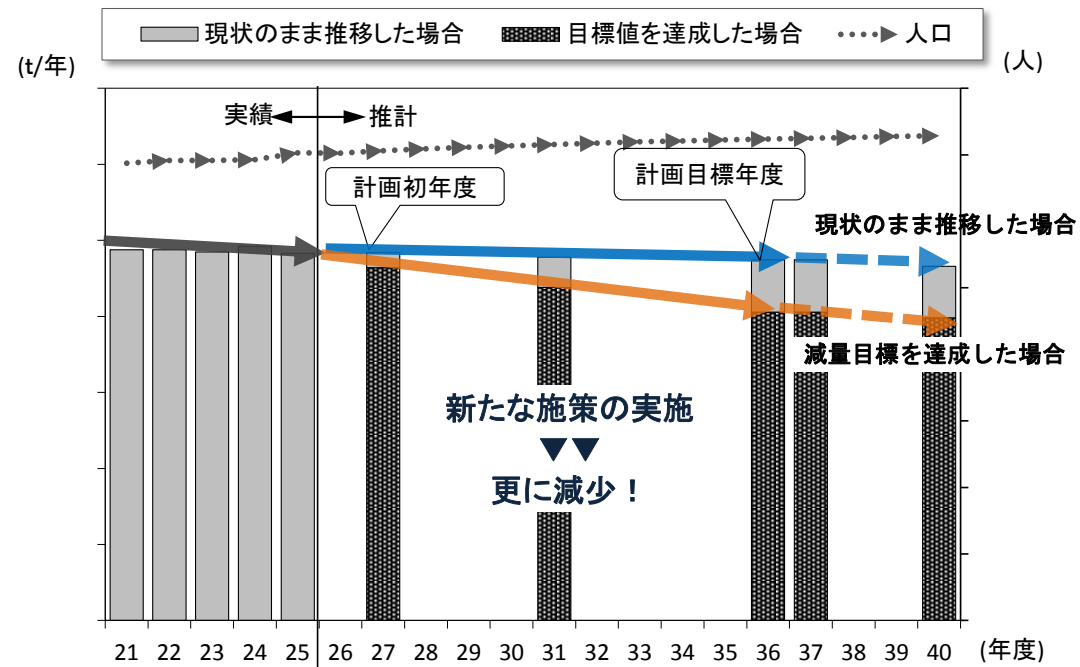


図1 現状のまま推移した場合と減量目標を達成した場合のごみ排出量の将来予測イメージ

2. 武蔵野市のごみ排出量の将来予測

(1) 現状のまま推移した場合の将来推計

武蔵野市の家庭系、事業系のごみ排出量の将来推計結果を図2に示す。

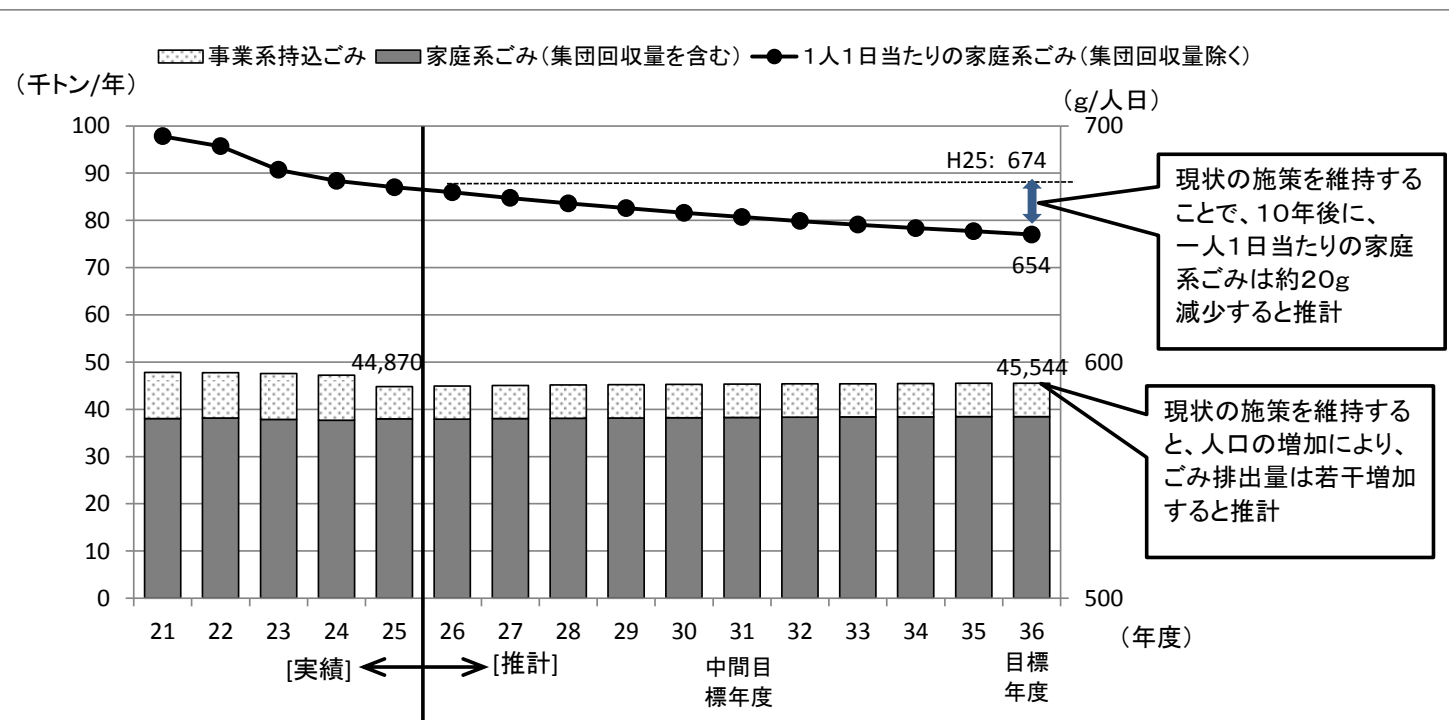


図2 現状のまま推移した場合のごみ排出量将来推計結果

(2) 目標設定

本計画における平成36年度の減量目標値を以下のように設定する。

表1 減量目標値

	平成25年度 [実績]	平成36年度 [目標年度]
1人1日あたりの家庭系ごみ排出量 (集団回収量、事業系持込ごみを含まない)	674g/人日	600g/人日
	平成25年度実績から 1人1日74gの減量	

(3) 減量目標達成に向けたごみ排出量

減量目標の達成に向け毎年平均的にごみ排出量が減少するとした場合のごみ排出量を図3に示す。減量目標の達成には平成36年度には平成25年度から比べ74gの減量が必要となる。市では現状のまま推移した場合も平成25年度より20gは減少すると推計しているため、新たな減量施策を実施していくことで、さらに54gの減量が必要である。

なお、平成31年度の間目標年度に、目標値との達成状況等の確認を行い、減量目標や施策の見直しを行う。

新しいスローガンが決まりました。

セカンドステージ！

武蔵野ごみチャレンジ600g

「1日に1人が出す家庭ごみ・資源物量」を多摩地域最少の600グラム以下に向けて新しいチャレンジ宣言

おかげさまで700グラム達成！ Yes!

「チャレンジ700グラム」後のごみ量の推移

<1日に1人が出すごみ・資源物量の推移>

696.3g (21年4月～22年3月)

786g, 752g, 764g, 756g, 740g, 707g

☆平成20年度多摩地域で最もごみ排出量が少ない自治体は、1日一人あたり600グラムを下回っています。新しいスローガンの実現を目指して、レジ袋などを必要以上にもらわない・生ごみの水切りを徹底するなど、ごみ減量のご協力をお願いします。

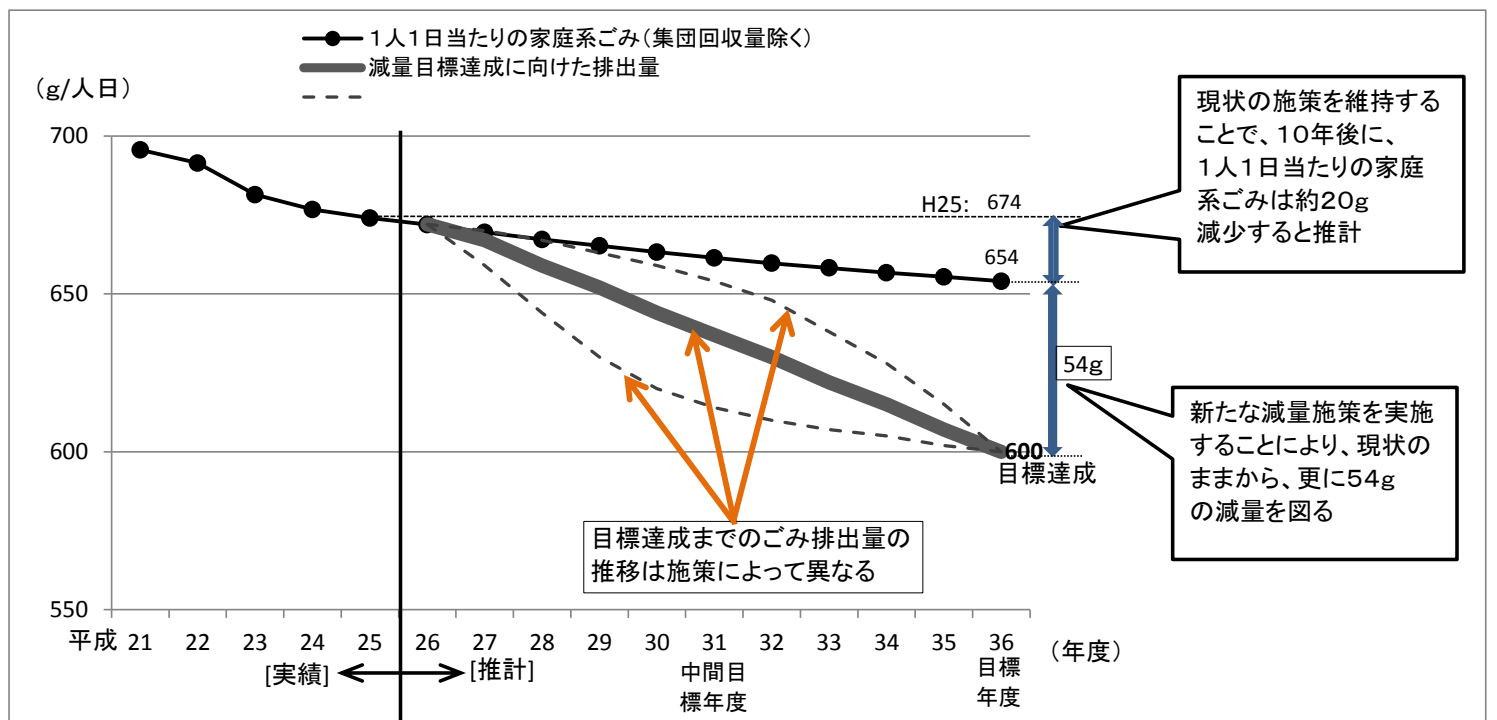


図3 減量目標達成に向けたごみ排出量